

## 目次

## 第一章 脳機能としての食欲——その開明の歴史

一	糖定常説 (glucostatic theory) .....	5
二	温度定常説 (thermostatic theory) .....	11
三	脂肪定常説 (lipostatic theory) .....	13
四	リン酸化定常説 (phosphorylation static theory) .....	14

## 第二章 食欲と調節する脳のネットワーク

一	視床下部腹内側核と外側野 .....	18
二	認知系回路 .....	42
三	視床下部外側野と学習記憶 .....	52
四	運動系回路 .....	57
五	感覚系回路 .....	66
六	自律神経回路 .....	68

第三章 物質で調節される食欲

一	視床下部における血液脳関門の特殊性	116
二	視床下部の化学感受性機構	117
三	食欲を調節する液性情報	127
四	摂食開始と摂食停止の液性情報	190
五	摂食による脳の学習記憶促進―脳の賦活	192
六	摂食後に起こる眠け	194

第四章 摂食を調節する味覚と嗅覚ならびに摂食制限

一	味覚・嗅覚の中枢経路と摂食中枢および満腹中枢との関係	208
二	味覚の情報処理	211
三	嗅覚情報処理	216
四	サルの摂食行動時の摂食中枢および扁桃体ニューロン活動	218
五	カテコールアミン系の学習との関係	226
六	味およびにおいと摂食中枢への作用	227
七	内的条件と味覚に反応するニューロン活動	239
八	味覚・嗅覚の老化と摂食との関係	240
九	摂食制限と寿命	242



